

平成 23 年度に実施した選択的評価事項に係る 評価に関する検証結果報告書の概要 (高等専門学校)

選択的評価事項に係る評価の有効性や適切性について検証し、評価内容・方法等の改善に役立てることを目的に、平成 23 年度に実施した選択的評価事項に係る評価について、対象校及び評価担当者へのアンケートを実施。

【アンケート回収状況】

◇ 選択的評価事項に係る評価（高等専門学校）

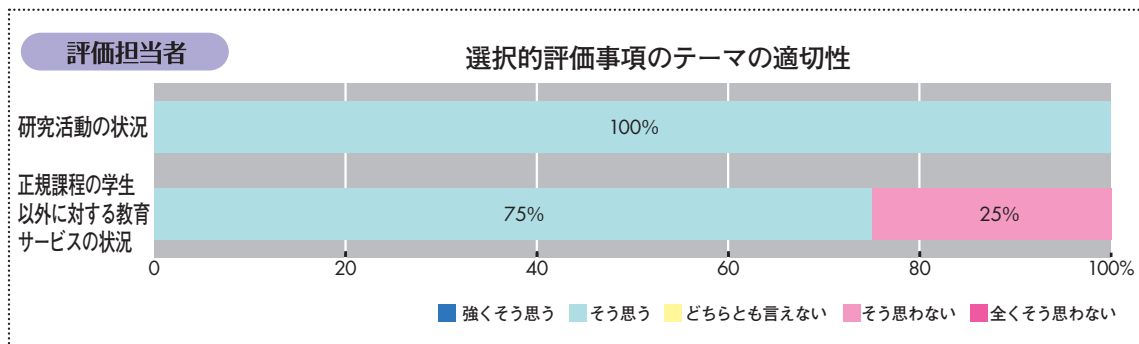
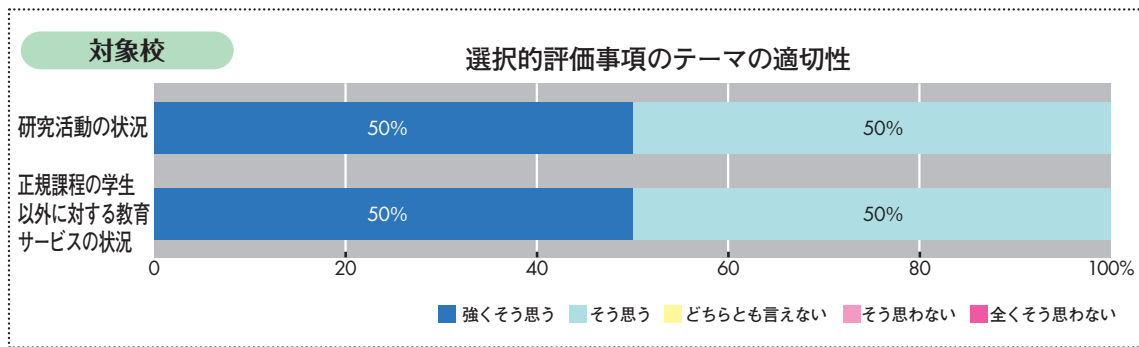
対象校 6 校（高等専門学校 6 校）すべてから回答

評価担当者（部会構成員） 8 名中 4 名から回答（回収率 50%）

1 検証結果の概要

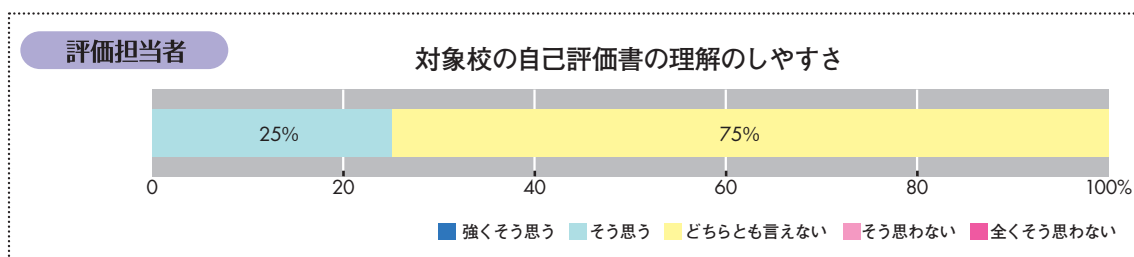
■ 選択的評価事項及び観点について

設定された選択的評価事項のテーマ「研究活動の状況」「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」、対象校が有する目的の達成状況の判断を示すという評価方法については概ね適切なものと考えられる。

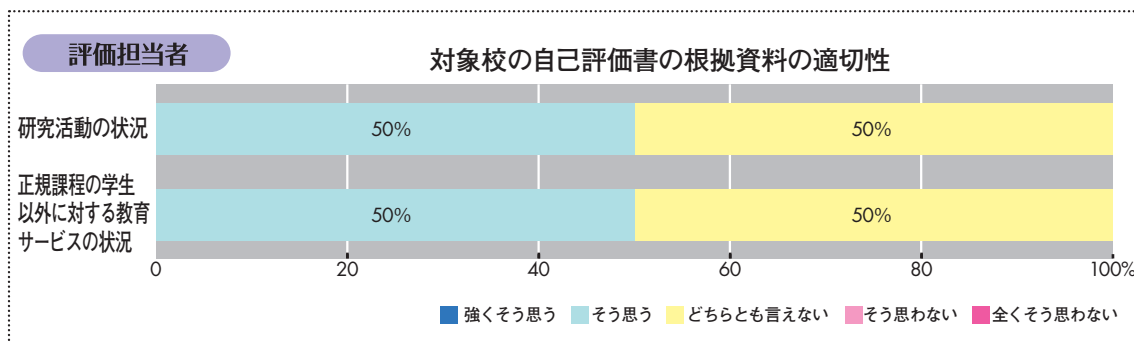


自己評価書について

自己評価書の理解しやすさについては、評価担当者から肯定的な回答が必ずしも多くない。機構としては、これまでも自己評価書イメージ等を説明会資料とし、説明しているところではあるが、さらに自己評価書作成に対する対象校の理解を深める必要があると考えられる。

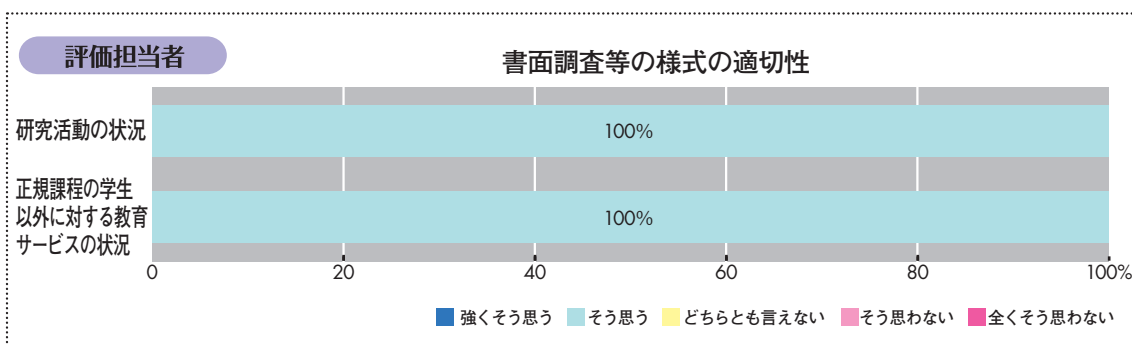
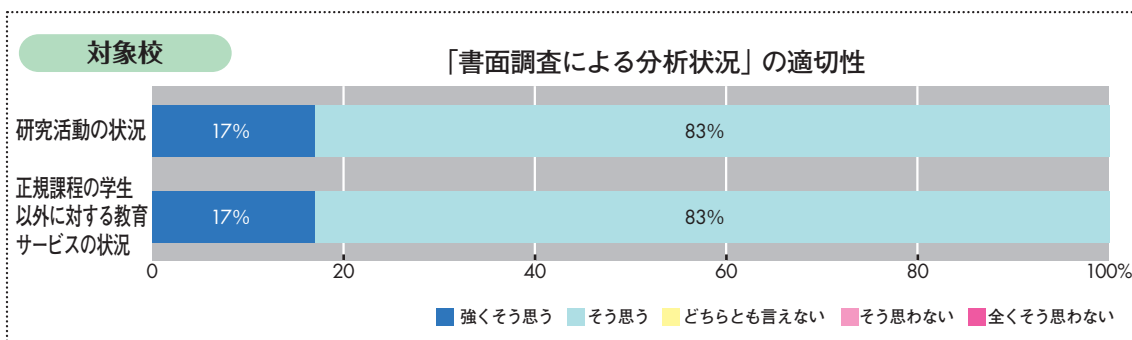


自己評価書の添付資料については、概ね適切な根拠資料が添付されていると考えられる。

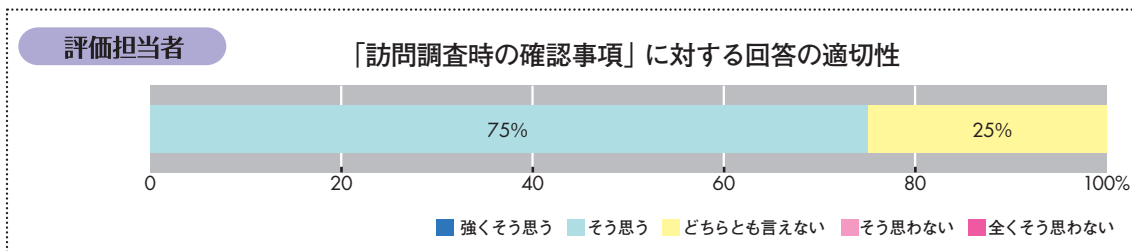
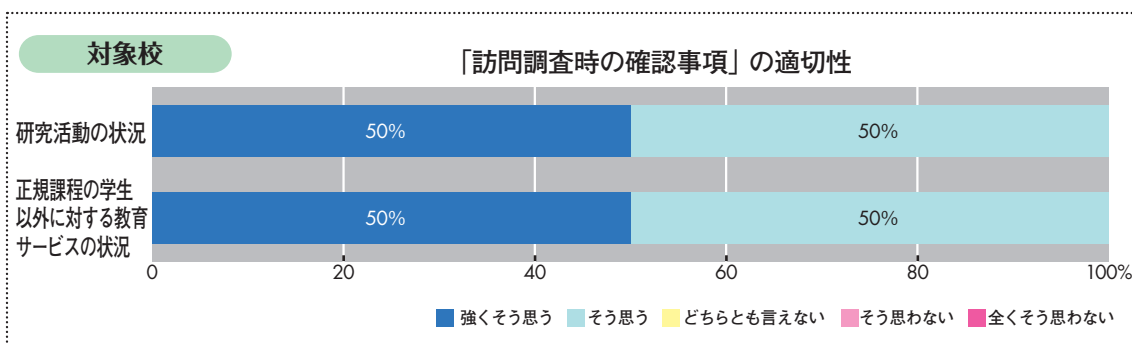


書面調査・訪問調査について

「書面調査による分析状況」の内容や書面調査票等の様式は適切であると考えられる。

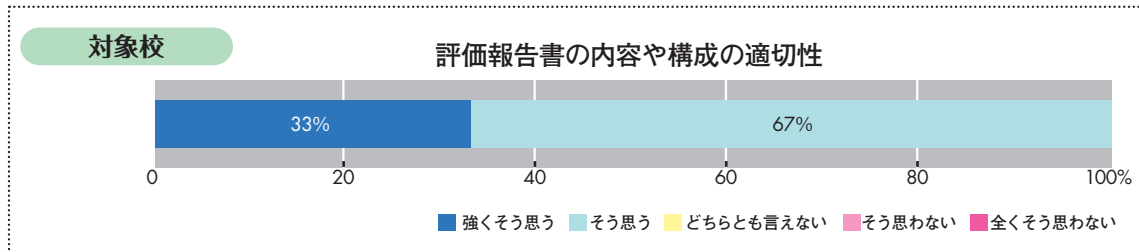


「訪問調査時の確認事項」の内容及びそれに対する回答は概ね適切であると考えられる。

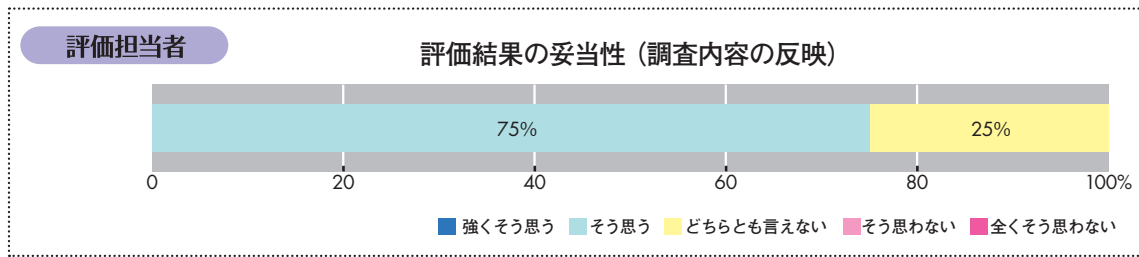


評価結果（評価報告書）について

評価報告書の内容や構成については適切であると考えられる。



評価報告書の内容については、評価担当者の意見が反映されており、概ね適切であると考えられる。



選択的評価事項に係る評価の改善・充実のための機構の取組例

研修・説明会関係

- これまでも、選択的評価事項の目的に対応した自己評価の記載については、説明資料に明確に記載して説明してきているが、対象校に十分理解されていないため、説明会や自己評価担当者の研修会等の説明をさらに工夫して対応する。